

～校長室だより～

堅下北中学校 太田 貴之

平成30年11月号

本気 根気 元気

平成30年度全国学力・学習状況調査について

平成30年4月17日に中学3年生を対象に「全国学力・学習状況調査」が行われました。今回の調査は、国語と数学をA問題（主として「知識」に関する問題）とB問題（主として「活用」に関する問題）に分けて実施、あわせて理科についても実施されました。また「生徒質問用紙」も同時に実施され、学習や生活などについての質問も行われました。

本校の結果の概要をご報告します。

【国語】

国語A問題、B問題について、全国の平均正答率を下回っています。無解答率においても、全国平均と比べて高く、問題に対して、最後まで向き合う姿勢に課題がみられます。特徴的な点を見ていくと、「文脈に即して漢字を正しく読むこと」に関しては、概ねできていますが、「文脈に即して漢字を正しく書くこと」に関して課題が見られます。音読や文章理解を重点的に行ってきた成果が見られるものの「書くこと」には、課題が残ります。

「文法問題での品詞の動きについての理解」「語句の意味を理解して、文脈の中で適切に使うことができる」「古典の文章と現代語訳とを対応させて内容を捉えることができる」「慣用句の意味を理解することができる」ことに関しては、概ねできています。

一方、「歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直して読むこと」や「目的に応じて文章を読み、内容を整理して書くこと」「相手に的確に伝わるように、あらすじを捉えて書くこと」に課題が見られます。課題の克服に向けて、引き続き漢字練習など基礎の定着を図りながら、「文章を要約して書くこと」、「内容を整理しながら、情景描写を捉えること」、「語彙力を増やす取組み」などにも、授業の中で取り組んでいるところです。

【数学】

数学A問題、B問題については、「数と式」「関数」など正答率が全国平均に比べて高くなっていく単元があるものの、全体的には全国平均を下回っています。また視覚的にわかりやすい問題においては、正答率が高くなっています。

「図形の理解」や「文章問題の読解力」に課題があり、無回答率が、全国と比べて2倍以上ある問題も見られます。生徒が個々に考える時間を増やし理解を深め、他者の考えと触れ合う機会を授業の中で取り入れることで、深い学びにつながっていくと考えられます。

数学科では、全学年において習熟度別分割授業やチームティーチングを導入し、一人ひとりの基礎学力の定着をめざして取り組んでいます。今後も、授業展開を検討し課題の克服に取り組んでいきたいと思えます。

【理科】

化学式、実験器具などの知識、濃度の計算等は、全国の平均正答率を上回っています。しかし記述式の問題やグラフや結果から読み取る問題については、課題があり無回答率も高くなっています。単元では、「物理」「地学」の分野が苦手だと思われます。全体的には、大阪府の平均正

答率を少し下回っていますが、概ね変わらないと言えます。「理科の授業の内容は、よくわかりますか」という質問には、全国平均を上回る肯定的な回答が示されています。今後は、グループで考え発表する機会を増やすことで、自ら発表する雰囲気をつくっていきたいと考えています。

以下は、「生徒質問用紙」から見えてくる本校の子どもたちの特徴的な生活実態です。

- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」という質問には、73.3%の生徒が、「当てはまる」「どちらかと言えば当てはまる」と回答しており、教員との一定の関係が見られます。
- 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問では、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせると、91.7%あります。全国よりも下回っていますが、家庭、地域、学校での共通した「人の思いを大切にすること」という意識が浸透していると感じます。
- 「自分には、よいところがあると思いますか」という質問には、肯定的な回答が65%と大阪府・全国平均をともに下回っています。自分に自信が持てず、自尊感情の低さが伺えます。体育祭、文化祭の発表を終えて、自尊感情が向上していると思われるのですが、引き続き授業、行事、学級活動等を通して自尊感情を育てていきたいと思っています。
- 「学校の規則を守っていますか」という質問に、「当てはまる」と強い肯定で答えた生徒は、46.7%で全国平均の63.4%を大きく下回っています。今後卒業までに、規範意識を高めていく必要を感じています。
- 「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間を含む）」という質問では、「1時間より少ない」「全くしない」が48.3%で、半数の生徒が、家庭学習の習慣が身につけていないことがわかります。昨年度から、宿題として、週末課題を3学年とも出しています。家庭での学習が定着し、自ら学ぶ意欲を育て、学校においても子どもどうしが学び合い、高めあう授業づくりに取り組んでいきたいと考えています。

今年度は、夏休み中の教員研修で、全国学力、学習状況調査の結果の分析を行いました。各教科からの分析を共有し、教員全員で、問題の解答にも取り組みました。今年度の分析を、今の2年生、1年生につなげていければと考えています。また学力向上に向けての研修も行い、昨年度に引き続き、元東大阪市立金岡中学校校長の馬場先生をお招きし、学習班についての考え方について学びました。昨年度から、3人班、4人班での学習班を活用する授業が増え、子どもたちの学びに深まりが出てきたと考えています。

保護者の授業参観週間にあわせ、教員が、お互いの授業を参観し、交流もしています。今後とも授業の改善に取り組み、子どもたちが「楽しい」と思えるような授業をつくって行きたいと思っています。

全国学力・学習状況調査は、子どもたちの学力の一部を把握するに過ぎませんが、本校では、結果を真摯に受け止め、朝読書や放課後学習、週末課題、授業改善等、今後も子どもたちの学力向上に向けて、取り組んでいきたいと考えています。ご家庭におかれましても家庭学習等で、ご協力よろしくお願ひいたします。